



「まちなか」が持つ良さを高めていくことを確認した市民委員会の発足会

# 「まちなか」価値向上を

## 青森 市民委発足、幅広く検証

「まちなか」が持つ近未来型のコミュニティ構築を目指す取り組みの第一歩とする。

市民委員会は、中心街で暮らす人、働く人、商売をしている人、市民活動をしている人などで構成。同日、同市新町・さくら野内のレストラんで開いた発足会と二回目の意見交換には、慶大側関係者を含め約二十五人が参加し、工藤健さん(青森市まちづくり)あきんど

と小山内世喜子さん(県男女共同参画センター副館長)の二人を代表に選んだ。

今後二程度かけて、さまざまな切り口からハッピネスを洗い出していく「見える化」、ハッピネスの度合いを測り体系的にとらえていくための「指標化」、関係者がつながりを深めながらハッピネスを高めていく「共同の仕組みづくり」を進めたい。

動成果は各種まちづくり施策に反映させるほか、

「まちなか」が持つ近未来型のコミュニティ構築を目指す取り組みの第一歩とする。

「まちなか」が持つ近未来型のコミュニティ構築を目指す取り組みの第一歩とする。

慶大などは、情報通信技術と小型電気自動車などの先端移動装置などを組み合わせ、誰もが生き生きと暮らせる近未来型の地域社会創出を目指す大型プロジェクトに取り組んでおり、今回の市民委員会もその一環に位置付けている。

この記事は、東奥日報の許諾を得て掲載しております。無断転用・複写を禁じます。